

令和3年度 府立洛西高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 確かな学力を身に付けさせるとともに希望進路の実現を図る。</p>	<p>1 コロナ禍の中、年度当初の臨時休業もあり、生徒の学力伸長に不安を抱えた状態であったが、全員の協力、工夫により、当初の遅れを取り戻し、成果をあげることができた。今後は新学習指導要領の実施を見据え、ICTの活用による授業改善や教育活動の活性化を進めていく必要がある。 また進路状況についても、国公立大学への合格者が増加するなど多くの生徒が希望の実現を果たした。今後も土曜活用や3年間をとおして系統的な進路・学習指導を継続的に行っていく。</p>	<p>1 一人一人の生徒を大切に、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を充実させ、生徒の希望進路を実現させる。また特にICTの活用による新しい時代を見ずえた教育活動を推進する。</p> <p>(1)ICT活用に当たり、校内体制を構築し、授業等による活用について推進を図る。特に令和4年度からの1人1台端末による教育活動に向けた研究及び準備を行う。また学習指導に当たっては、基礎基本の確実な習得、生徒が主体となって学ぶ授業への創意工夫、教員相互の授業研究交流を充実させる。</p>
<p>2 部活動・自主活動の充実・活性化により、豊かな人間性を育み質の高い集団作りを行う。</p>	<p>2 部活動、洛西フェスティバル等の主体的な活動は、コロナ禍の中、従来と同じことはできず、制限された中ではあったが、やれることを工夫し、生徒たちは熱意をもって取り組んだ。今後も総合的な探究の時間、探究型学習である洛再Links、学校行事を一層活性化させ、生徒に在り方生き方をしっかり考えさせ、豊かな人間性を育む取組を充実させていく。</p>	<p>(2)総合的な探究の時間の充実や洛再Linksの組織的な実践等により、地域や社会とつながり、自ら課題を発見し他者と協働しながら活動する力を身につけさせ、自らの在り方生き方を考えさせる活動の充実を図る。</p> <p>(3)学習・部活動・学校行事等にも全力で取り組む学校文化をさらに醸成し、そのような活動をとおして豊かな人間性を育むとともに、主体的に行動する力を高める。</p>
<p>3 保護者、地域の方々から信頼され、期待される、魅力ある開かれた学校づくりを実現する。</p>	<p>3 学校説明会等の広報活動の成果により、本校への志願者を増やすことができた。今後も地域・保護者・中学生等からの信頼をさらに高め、本校の教育活動を広く知ってもらえる取組をより充実させる。</p>	<p>(4)生徒指導が学校教育の土台であることを念頭に、温かさの中に厳しさのある生徒指導を推進する。基本的生活習慣を身につけ、心身ともに健康な生徒の育成を目指す。</p> <p>2 本校の魅力を発信し、府民、地域、保護者、中学生等からの信頼をさらに高める取組を推進し、学校説明会の充実を図りながら、本校を志願する中学生の一層の増加を目指す。</p> <p>3 引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら、教育活動の充実を図る。</p>

成果と課題

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題	
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> 各種会議の連携を図り、学校運営を組織的に進める。 生徒・保護者・地域社会からの期待に応え信頼される学校作りを一層推進し、本校の教育活動についての特色や魅力に関する情報発信に努める。 生徒の教育環境の充実に向け、適切な予算執行を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 部長会議を中心とし、各種会議にて課題に応じた組織的な検討を行う。 各種会議での検討内容を全教職員で共有し、共通理解のもと組織的な取り組みを進める。 学校内外で実施する本校の説明会や広報誌、ホームページなどの内容を充実させ、本校の教育内容や特色、魅力等を効果的に広報する。また、お知らせメールやClassi等を活用し、日々の高校生活等について生徒や保護者へ適切な情報提供に努める。 洛再Links等におけるボランティア活動等を通じ、地域とのつながりを大切にすることに努める。 危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な学習環境を整えるとともに、施設設備の充実を図る。 生徒の個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い就学支援等の充実を図る。 	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>各種会議は定期的な開催と必要に応じた開催により、情報共有するとともに、組織的な取り組みと対応ができた。</p> <p>一方で既存の組織を超える教育課題が生じているため、柔軟な対応も求められている。</p> <p>年度当初よりホームページは頻繁に更新され、広く情報発信ができたものと考えられる。Classiは昨年度よりも格段に利用されており、学校と生徒・保護者との重要な連絡ツールとなっている。</p> <p>洛再Links活動が年間を通して行われ、地域からも大きな期待を寄せられている。今後も継続して地域連携を図っていきたい。</p> <p>危険箇所の早期発見・修繕を施し、安心安全な学習環境を整えることに努めた。</p> <p>奨学金等の情報提供を行い就学支援の充実を図ることに努め、一定の成果があったと考えられる。</p>

各分掌

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題	
教務	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、授業改善を図る。 生徒の学力向上につながる質の高い授業を展開する。 中学生・保護者から選ばれる学校となるよう、本校の魅力を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業におけるICTの活用方法を研究する。 「総合的な探究の時間」を「主体的で対話的な深い学び」の中心的役割を果たすものと位置づけ、授業計画を策定する。 公開授業週間を設定し、教員間で指導方法の研究を行う。 自学自習の学習習慣と学校に軸足を置いた学習スタイルを確立させる。 他分掌との連携を密にし、学校説明会やHPを積極的に活用する。 生徒自身が本校生徒であることに誇りと自信を持てるような教育活動を行う。 	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>新型コロナウイルス対策としてオンライン授業を実施した。ICT機器の活用や次年度入学生から始まる新学習指導要領に基づく授業・評価方法を引き続き研究していく必要がある。</p>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の確立と規範意識の向上に努め、安全意識(交通安全・防犯・防災)の高揚を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常における挨拶や正しい言葉づかい、時間の自己管理を指導する。 	<p>B</p>	<p>B</p>	<p>基本的生活習慣、規範意識といった点については一定の指</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた学習環境を作り、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を行うとともに地域や社会とつながり、自己を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制服の正しい着装や髪型など高校生らしい姿、身だしなみを指導する。 ・自転車通学者を中心に、登下校時の安全指導を充実させるとともに、「4ない運動+1」を推進する。 ・スマホ(携帯電話)のモラルを教え、マナーを指導するとともに、SNSやネットとのかかわり合い方など情報機器の正しい使い方を指導する。 ・洛再Linksやボランティア活動への積極的な参加を奨励し、豊かな人間性を育み質の高い集団となるように指導する。 ・人権学習の内容を充実させ、一人一人の意識を高め人権が守れる集団となるように指導する。 ・部活動や学校行事、特に洛西フェスティバルに積極的に取り組み、健全な人間関係の構築を図るとともに、自主性・協調性の向上を図り、達成感を持たせるよう指導する。 	B	B	<p>導の成果は見られるが自転車の安全走行に関しては指導が追いつかないと感じる。またSNS関係の指導は問題が見えにくいため働きかけ、呼びかけを継続させる必要がある。</p> <p>コロナ禍の下、部活動や洛フェス等の行事、またLinks活動については可能な限り取り組ませることはできたが、実質的に生徒の自主的な活動の機会が減少したことは残念であった。</p> <p>いじめにつながる案件もあったが他分掌と連携して取り組めた。日常的に人権意識の向上を図る必要がある。</p>
進路指導	<p>個に応じた指導等により、生徒一人一人の進路を実現する。大学進学に関する具体的な目標としては、国公立および難関私大への実合格者80人を目標としつつ、国公立大学、難関私大への合格者数、及び主に標準クラスからの難関中堅私大への合格者数を指標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の各組織と連携しながら、生徒が自ら将来像を描き、よりよい進路選択をしていくように促す。 ・発展クラス、標準クラスともに確かな学力を身につけて希望進路を実現するために、生徒への働きかけを講じるとともに、教科担当・担任への情報提供に努める。 ・生徒が主体的に学ぶ姿勢を身につけるために、高大連携等を活用しながら、様々な刺激を与える。 ・個人面談を通じて一人一人の進路実現への助力をする。 ・大学入試等の制度改革について、適切な情報収集と対応を図る。 	B	B	<p>希望進路の実現のための生徒支援を、他分掌とも連携しながら取り組めた。特に学年との連携はより一層緊密にしていきたい。</p>
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣を身につけ、礼儀やマナーに則った行動ができるよう指導する。 ・部活動や自主活動に積極的に参加し、生徒が意欲的・主体的に取り組む姿勢を育てる。 ・授業を中心とした、予習・復習の学習サイクルを実施し、家庭学習習慣を確立させる。 ・一人一人の生徒を大切に、個に応じた指導を行う。 	<p>生徒指導部とも連携し、朝の登校指導を積極的に行い、時間遵守・挨拶の励行や身だしなみを整えるなどを、当然のこととして捉え、自ら考えて行動する力を育てる。</p> <p>積極的に声掛けを行い、部活動や洛再Linksへの参加を促す。また、さまざまな経験を通して豊かな人間性を育み、主体的に行動する力を高める。Classiを有効活用し、適宜学習時間を管理、フィードバックしながら、自己の学習状況を把握させ、改善していく姿勢を育てる。</p> <p>随時面談を実施し、学校生活を充実させ、進路実現に向けた指導を行う。</p> <p>担任、教科担当など教員間での情報共有を行う。また家庭と連携を図りながら、生徒の個性と能力、可</p>	B	B	<p>年間を通じて、遅刻の多い生徒や身だしなみに乱れのある生徒に対し、細かな声かけは実施できた。しかし、学年行事が中止となるなど、生徒達が主体的となり活動する場が少なく、日常生活の中で自主的・主体的に行動できるような課題設定も必要であったと感じる。Classiについては、新たなコミュニケーション、学習支援のツールとして大いに活用できたが、学習意欲の向上には直結はできていな</p>

		能性を伸ばす教育活動を充実させる。				い。また、教員間では、頻繁に生徒の情報共有を図ることができ、連携がとれた指導を行うことができたと考えている。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 授業を中心に置き、予習・復習を計画的に行う学習サイクルを確立させ、家庭学習習慣を定着させ、学力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> Classiを活用し、集計をフィードバックしながら自己の学習の状況を把握させ、改善へと導く。 	B	B		Classiで学習の管理や配信された課題をすることなど指導することができた。次年度も引き続き活用を啓発していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を身につけ、礼儀やマナーに則った行動ができるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導部と連携し、時間遵守・挨拶励行や身だしなみを整えること等を当然のこととして捉え、実践する姿勢を育てる。 	B	B		引き続き遅刻身だしなみなどの生活習慣の指導をし、より良い人間関係の構築やコミュニケーション力の育成へつなげていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が意欲的、主体的に学習や学校行事に臨む姿勢を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年次に続き、主体的に学習に取り組む姿勢を育てる。 研修旅行、文化祭や体育祭において各委員を中心に生徒が主体的に活動できるよう指導を行う。 洛再Linksの取組を活用しながら自分と社会のつながりを意識し、行動に繋げられるよう指導する。 	B	A	B	コロナ禍で多くの困難があったが、研修旅行が実施できた。様々な工夫が求められる中で多くの生徒の自主性を育むことができた。マナビジョンの活用など模擬テストについて新テストを意識して実施することができた。
	<ul style="list-style-type: none"> 新テストに対応できるよう情報収集を行い生徒にフィードバックする。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導部と連携し新テストに対応できる力をつけさせるべく具体的な取り組みを模索し生徒にチャレンジさせる。 	A		B	3学期は次年度に向けた進路学習を実施できた。今後実力をつけるための具体的な方策を提示していくことが課題である。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 高い志を持ち、互いに高め合える学習集団づくりを進めることにより、生徒が希望する進路を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校に軸足を置き、互いに切磋琢磨できる質の高い学習集団作りを進め、希望進路を実現させる。 積極的な模擬試験への参加をうながし、データの活用や分析をすすめ、面談等を通して適切な進路指導につなげる。 進路指導部と連携し、的確でタイムリーな情報の提供を行い、進路目標の決定、実現を進める。 生徒の進路実現のために、保護者に向けても必要な情報提供を行う。 部活動や行事への積極的な参加をうながし、主体性、協調性、コミュニケーション能力、忍耐力等を培う。 行事、委員会活動を通じて、生徒が主体的に運営できる力を育成する。 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の加入率は高かった。 指定校推薦を利用して進路先を決定する生徒が昨年同様多かった。 総合型入試や推薦入試では、進路指導部や教科からのバックアップが手厚かった。私立大の総合型では多くの合格者を出した。 早期に進路決定した生徒と受験を控えて勉強をしている生徒が互いに配慮するよう指導をしてきた。生徒たちはよく理解して学習に打ち込んで
	<ul style="list-style-type: none"> 最高学年としての自覚を持って、学習、部活動、行事等でリーダーシップを発揮し、下級生の模範となるような生徒の育成を行う。 		B			
	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上をはかり、社会に貢献できる質の高い人間づくりを進める。 		A	A	B	

		<ul style="list-style-type: none"> ・洛再Linksの活動を継続するとともに、培った力をさまざまな場面で発揮できるよう指導する。 ・挨拶、身だしなみ、自転車マナー等、社会に出るために必要な常識を身につけさせる。 ・学年での遅刻指導を継続し、卒業まで学校に軸足を置いた生活を送れるよう指導する。 ・行事、HR活動等を通して、集団の中で相手を認めあい、互いの人権を尊重できる人間を育成する。 	B B B B		<ul style="list-style-type: none"> いた。 ・共通テストシミュレーションを実施して、本番に備えさせた。私立大に共通テスト利用で合格した生徒も多かった。 ・行事面では、演劇の中止が残念だったが、代替の洛フェスを中心に自主的・積極的に取り組んだ。卒業アルバム作成や卒業式に向けてもその姿勢が見られた。
保健	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人を大切にする、学校経営計画に基づく様々な教育活動の支援 ・特別支援教育の充実 ・学習環境の整備と充実 ・学校保健会議の活用 ・新型コロナウイルス感染防止への対策に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健管理や保健指導を計画的に実施する。 ・配慮・支援を要する生徒への指導を充実させる。 ・不登校等の未然防止や学習・生活支援を必要とする生徒への早期対応をはかる。学年部や教務部と連携し、兆候を早期に把握し、必要な手立てをとる。 ・特別支援教育を充実させるための具体的な方策を立てる。 ・安全点検や清掃用具等の点検・整備を進める。 ・各種検査を活用し、教育活動に係る環境整備を進める。 ・学校医・学校歯科医・学校薬剤師との連携を大切にし、学校運営に活かす。 ・手洗いや換気等、感染予防を徹底すると共に、事務部と連携し、消毒等の環境整備に努める。 	B B B B B B B B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談会議を通じ、校内で必要な情報を共有し、適切な生徒指導に役立てることができた。 ・支援の必要な生徒については外部関係機関と連携をとり支援の充実を図った。教科担当者会議や定期的に生徒情報を共有してもらうことにより教職員の中で情報共有できた。場合によっては生徒への対応についての体制作りを考えていく必要がある。 ・各種検査を実施することができた。今後も事務部と協力して環境整備を進めていきたい。
図書	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営計画に基づく教育計画や教育指導への支援を充実させる。 ・自主的に読書に親しむ生徒を育て、読書を通じて豊かな人間性を育成する。 ・地域・保護者・中学生等に積極的に広報する。外部の公的機関等との連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究型学習、調べ学習、図書館利用学習への直接的支援や援助を行う。 ・学校行事や人権学習等の取り組みに積極的に協力し、特別展示などを通して啓発活動を行う。 ・教育的効果を考慮した団体鑑賞を実施する。 ・学校行事のビデオ撮影をおこない、学級活動等に提供する。 ・図書委員会の活動を活性化させ、自主的な取り組みを増やし、視覚的にも楽しい図書館にする。 ・図書館ニュース、新着図書案内、洛西選書を発行する。特設コーナーや季節のイベントを充実させ、読書の啓発に努める。 ・図書館管理システムによる蔵書管理を効果的に行う。 ・ホームページを通じて広報、情報発信を行う。 	A B B B B A A A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・日常業務、図書館利用学習、定期的な広報活動、公共図書館との連携等、しっかり取り組めた。 ・新型コロナウイルスの影響で、活発な活動ができなかった。

		<ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館との連携を深める。 	A		
総務企画	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒募集に関わって、本校の魅力や求める生徒像を様々な機会を活用して中学生及びその保護者にわかりやすく伝える。 ・在校生及びその保護者に適切に情報提供をする。 ・PTA、地域の方々との関係を深め、信頼される学校作りを目指す。 ・府立高校特色化事業等の取組等を通して、生徒の社会科学的視点、国際的な視点等を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内外で実施する本校の説明会や広報紙、ホームページ等の内容を充実させ、本校の教育内容や特色、魅力等を効果的に発信する。 ・各分掌、教科、部活動と連携して生徒の日々の活動を記録に残し、広報にも活用する。 ・ホームページの更新頻度を高めて内容を充実させるとともに、Classiやお知らせメールを積極的に活用し、必要な情報をタイムリーに提供する。 ・PTAとの連携を深め、PTA総会をはじめとする各種委員会の活動、諸行事が有意義なものとなるように支える。 ・学年部、教科と連携して「グローバルネットワーク京都」の取組を積極的に推進し、年度末の発表会に向けて準備を進める。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット、広報紙、ホームページ等を効果的に活用して学校の魅力を発信できた。学校ポスターを数年ぶりにリニューアルできた。コロナ禍の中で実施形態を工夫し、予定されていた学校説明会を全て実施できた。 ・校内の取組や行事等について、タイムリーにホームページに掲載することができた。 ・Classiやお知らせメールを活用して、緊急連絡はもちろん、保護者に日常的に必要な情報を提供することができた。 ・コロナ禍で縮小を余儀なくされたが、各種PTA行事を実施することができた。一方、今後のPTAの組織や運営方法についての課題や改善点も残った。 ・教務部、第1学年部と連携しながら「総合的な探究の時間」を活用してSDGsに関する探究活動を行うことができた。オンラインでの実施となったが、代表生徒による交流会での発表も無事に終了できた。この取組を「総合的な探究の時間」の中にどう位置づけるのか、今後も検討が必要である。
			B	B	
			C	B	
			B	B	
ICT推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して日々の校務を効率的に行う。 ・ICTを活用した授業・学習指導を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内サーバー、校務PC、タブレット端末等を適切に管理運用する。 ・スマートスクール推進事業、GiGAスクール構想に係る業務を円滑に進める。 ・各教科と連携しながらICTを活用した効果的な学習指導の方法を研究する。 ・生徒1人1台端末の効果的な導入法、活用法について研究する。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・校内ネットワークや端末の日常的な管理運用を適切に行うことができた。 ・学習指導におけるICTの効果的な活用法について各教科と連携しての研究が十分に行えなかった。 ・令和4年度の1人1台端末の導入に向けて、端末の付属

					品や管理方法、実際の活用法などについて様々な検討を行うことができた。	
事務	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の個性と能力、可能性を伸ばす教育活動実現するため、適切な予算執行を行うとともに、奨学金等の情報提供を行い、就学支援等の充実を図る。 今年度は本庁執行工事（水道工事）が予定されている。学校教育活動にできる限り支障がないよう連絡調整を行う。 保護者、地域の方々から信頼されるように外部と接する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の教育活動に何が必要かを教職員と連携して検討し、有効で適切な予算の執行を行い、必要な物品等は速やかに購入する。 危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な教育環境を整備するとともに、施設設備の充実を図る。 多種多様な奨学金制度について本校のホームページを活用し、情報提供を行うとともに、円滑な事務処理を行う。 本庁執行工事に伴い、授業等への影響を考慮し、日程等を速やかに教職員や生徒に知らせ、連絡調整する。 電話や窓口業務の対応で、保護者や地域の方々から信頼されるように言葉遣い等に留意する。 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止に伴う学校継続のための予算等により新たな物品等が導入できた。今後有効に活用してもらいたい。 危険箇所の修繕等安全対策に重点をおいた改修工事を積極的に行った。 ホームページ等を通じて奨学金の情報提供を行った 本庁執行工事については連絡調整を綿密に行ったが、変更が多く調整が難しかった。

学校運営協議会からの意見	<ul style="list-style-type: none"> 洛西高校の魅力を外へ積極的に発信し、志願者が一層増えることを期待する。 情報発信の手段として、SNSの活用、学校説明会の外部会場での実施、コロナ禍における部活動の継続と成果等をさらに広報すること等の検討を進めてほしい。また中学生が高校を選択する決め手となる学習内容、学校行事、進路実績、部活動等についてさらに積極的に外部へ発信してほしい。 コロナ禍において、「できないこと」でなく「できること」を探して取り組んだ結果、文化祭・体育祭・研修旅行等が実施できたことは素晴らしい。公立高校ならではの魅力を、これまでとは異なる方法での広報が必要でないだろうか。 「洛再 Links 活動」は高校生と地域と繋がる取組であり、高齢化が進む地元地域においては貴重な存在である。地域の期待も大きいものであり、今後も活動がさらに発展することを望む。 自転車事故防止に向けてのさらなる取り組みが必要である。 P T A 活動の活性化を期待する。
--------------	---

令和4年度に向けた改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領の実施、1人1台端末導入による学習方法の展開など、新たな時代の教育活動を推進する。 志願者の一層の増加につながるよう、学校からの積極的な情報発信が何より重要となる。そのためインスタグラムなどのツールの活用も念頭におきながら、広報活動の在り方を再検討し、中学生・保護者・府民に向けて積極的に情報を発信していく。 「洛再 Links 活動」は地域に根ざす本校の教育活動として重要である。Links 同好会の発足など校内体制の構築を進め、生徒が異世代の方々と交流し、地域の課題を発見し、解決する力を身につけられるよう今後も取り組みを進める。 自転車事故防止、通学マナーの向上に向けてさらに取り組んでいく。 コロナ禍で得た教育活動の工夫を今後も継続し、教育活動の充実と教職員の働き方改革をさらに進めていく。 P T A の組織のスリム化などの改編を進め、活動の活性化を図る。
-----------------	---